

リニッケで受付をすませ、定刻通り午前九時三十分には、岩本町ビル前を出発しました。間もなく小山副会長より、朝のご挨拶があり、続いて重本先生より今回の旅行についてのご挨拶をいただきました。紅葉の季節でもあり多少の交通渋滞は予想されましたが、案の定八王子付近から車はあまりよく進まず、先生のお計らいで午前十一時過ぎから糖尿病教室が行われました。教室は乗車前に配布された鈴森会会報の糖尿病神経障害、自律神經障害を中心にお話をした。神経障害は、軽症糖尿病であっても、早期から自覚症状を伴わず

は武田信玄の菩提寺乾徳山恵林寺(臨済宗)で南北朝時代には多くの僧侶が、京、鎌倉より来寺し、東国臨済宗の中心として発展したといわれています。元亀四年(一五七三)死去した信玄の葬儀は三年後に盛大に営まれ当寺に葬られたといわれて居ります。午後二時に、ここを出発、勝沼ワイナリーに到着。広々としたブドウ園を眺めながら「ワインの試飲」を楽しみ、資料館では、ワインの歴史とその製造工程の説明もやつていました。午後三時十五分にはここを出发しました。河口湖付近の紅葉はまだ一寸早い様でしたが、ところどこ

り、北村監事の乾杯で宴會は始まりました。まもなく安藤先生よりもご挨拶をいただき、会も時間とともに盛り上がり、自慢ののども次々と披露され、大変楽しい和気あいあいの中での時もすみ、午後八時五十分頃に小山副会長のべで会を終了しました。

場食といわれ、ヘルシード栄養価のすぐれたものであると伝えられているという事でした。十二時三十分頃昼食後出发し、山中湖に沿つてバスは走り、外気温も十二度と標識があり、さほど寒さは感じられませんでした。この辺は紅葉もきれいで、見えかくれる富士の山々も大変美しく皆さんも満喫された事と思います。バスも順調に走り、竪坂峠を越え御殿場より大井松田と進み、午後一時四十分頃には海老名に到着しました。ここで休憩をとり出発後午後二時過ぎには糖尿病教室が始まりました。過活動膀胱症状の質問表が前もって先

り二日間の懇親旅行天候にも恵まれ、事故なく全員無事で楽しく旅行であつた事を喜でいるとのご挨拶をいただき、午後三時過ぎ岩本町ビル前に到着いたしました。第四十三の秋の懇親旅行兼糖病教室は天候にも恵れ、雄大な富士の姿や河口湖、山中湖付近の葉を楽しみ、充実した強会など、会の目的は分に達成されたと思て居ります。この事は員の皆様のご協力と、リニック職員の皆様、関係会社の皆様の大なご盡力あつてからそと心から厚く御礼し上げます。

鉢巻会の方法が行事の一つ、一泊二日の懇親旅行兼糖尿病教室は、今年で第四三回をむかえ、場所は雄大な富士の姿を望む河口湖温泉「花亭おおや」にて行うことになりました。旅行日は十一月六日七日の両日で毎年通り、鈴森内科ク

出口付近では渋滞があり、
ボンネットを正午前に通過、
進行方向左側の紅葉が
少しずつ見られる様に
なりました。長い竿子ト
ンネルを抜け、勝沼で高
速を降り、塩山の昼食場
所に到着、昼食後、惠林
寺に向ひました。惠林寺

三十分に始まりました。石川会長が欠席されたため不肖私が代わりに開会の挨拶を申し上げ、つづいて重本先生より健康の大切さと、毎回変わらずご出席いただいている安藤先生に対するお礼のご挨拶があ

度の高い多量の方が、なんこんと湧き出て、池の中のセンショウもなど水草の揺れ動く様子は実に神秘的で、日本水一〇〇選にも、選定されているということです。昼食は山中湖でしたが、その食事は甲州名物「ほうとう」で、武田信玄の戰

A black and white portrait of Dr. Toshiaki Kondo, a man with glasses and a suit.

がある糖尿病の軽症から現れてくる合併症であり、早期の診断と治療が必要である。大体以上の様な大変大切な意義のある教室でありました。教室は約三十分位で

「花水亭おおや」には全員午後五時過ぎには各自部屋に入り、宴会前の午後四時過ぎに到着し、希望者のみの入場見学致しました。宿泊する

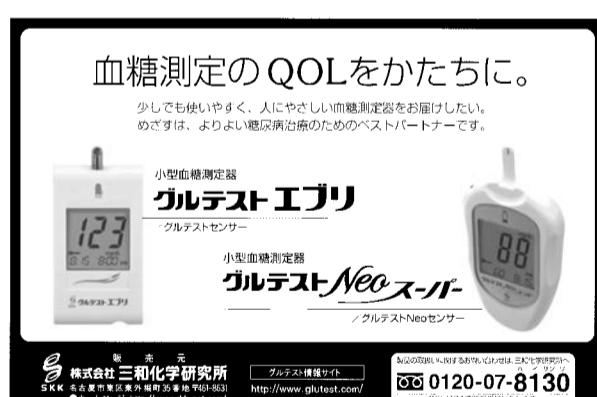
第四三回 懇親旅行兼
糖尿病教室

徴があり、症状としては
両足のしびれ、痛みがあ

士山の雄々しい姿もここ
美しく思われました。富

して、身を清めて富士登山の第一歩をふみ出す

生。酔石を机に置いたが、前日の教室



第43回 紫森会研修旅行（河口湖温泉） 平成22年11月6日 - 7日